

令和元年度生野区区政会議(第1回こどもの未来部会)
 いただいた主なご意見等(要約)と区の考え方、対応

開催日: 令和元年5月30日(木)

場所: 生野区役所5階 502・503会議室

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
緒方区PTA 副会長	地域によって温度差がすごく、全く知らない保護者の方もいるのが現状である。私も昨年に話を聞いて、進捗状況を知ったぐらいである。もっと話を聞く場が増えないと、今も全く知らない保護者がたくさんいると思う。	—
村上委員	学校設置協議会の設置目標が4中学校区で実績が3中学校区で目標未達成というのは違和感がある。その他の目標設定数値でも、初期設定値はどういう根拠に基づいている数値なのか疑問である。	前年度の目標から、さらに上になるような形で目標設定を行っている。当然、目標数値を上回る項目については、さらなる目標設定を掲げてまいりたい。
鈴木区PTA 副会長	平成30年の11月に中学校区学校設置協議会が設置されたということだが、やっぱり地域と学校は離すことができないのに、不参加の地域があるというのはとても残念なことだと思う。これからこの不参加の地域に対してはどのように働きかけていく予定にされているのか。	統廃合の案に納得しきれていない部分や、通学距離の問題や残された学校跡地の問題など、いろいろ不安な部分もある中で、具体的にいろいろご相談しながら、解決策を一緒に考えていくという形で話をし、皆さんに参加いただけるように取り組んでいかなければならない。特に通学路の問題に関しては、区独自のルールが適用できないかということも含めて、地域にもまた話をさせていただきたい。
新井委員	学校再編のことに関しては、私は区役所から聞きたいことや説明については本当に十分過ぎるぐらい聞いているが、それを説明する場もたくさんあったし、情報を取りに行かない人たちが聞いていないと言うのは、ちょっと違うのではないか。もし気になるとか自分たちのことだと思うのであれば、その場に行って話を聞くべきだし意見も出してほしい。	—
新井委員	再編で一つになった桃谷中学校について、それに携わった方たちの思いというのを、鶴中の閉校式のときの言葉などいろいろなものを見せてもらったときに、胸がつまるくらい皆さんの思いが詰まっていた感動した。1+1=2じゃなく3にも4にもという思いを、私たちはそこをもっと深めていかなければいけないと思うし、本当にやってよかったと思えるように、歩いていく一歩を私たちは助けていかなければいけないと思う。	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
米川委員	<p>学校が荒れていることについて、PTA全員で学校に毎日交代で、みんなを見守っていかうということで3年間行った結果、子どもたちも挨拶ができるようになった。保護者が見守っているという形に持っていったら、子どもの荒れているのもちょっと落ちつくのではないかと経験上思った。</p>	<p>区長には、区担当教育次長として、生野区内の公立小中学校、幼稚園に対しての学校施策の後押しをしたり評価をしたりするという役目がある。そこで、学校に出向いて校長先生の話の聞いたり、地域の方の意見も聞いたり、実際の子どもの様子を見て、助言したり、教育委員会と連携して何らかの支援をし、そういった立場にもあるので、今日いただいたご意見は、また学校のほうにも返せるようにしたい。</p>
林委員	<p>また、生徒だけではなく、先生の方も少し気になる言動がある。</p>	
新井委員	<p>生涯学習の発表について、舞台の上にいるいろいろなものを展示するというのがほかの区にはないらしく、展示されているのかというご意見をいただいたりして、本当に素晴らしい、いい企画であったと思う。“いくのde育～の”の活用ということで、アクセス数も9,191件あって、皆さんがその情報を楽しみにして見ているのではないかなという、本当にこれがあらわれた数ではないか。生きるチカラを育む絵本プロジェクトの中で、「わくわくいっぱい、絵本PARKinいくの」に参加された方も673名、写真など見させていただいたが、たくさんの方が参加されていて、こういうことから子育てって楽しいと思ってくれたらよくなるんじゃないかなと思った。たくさんいろいろなイベントとかも頑張っているっていただいて、私は単に目標達成という言葉にしてしまうのがもったいないなと逆に思っている。</p>	—
伊藤委員	<p>授業でわからないところはそのままにしておく子どもがたくさんいる。そんなときに、授業が終わったときにすぐに対応できるようなシステム、例えば人材バンクなど、教育資格を持った方とか、あるいは大学生に少しフォローしてもらえればいいかと思う。子どもたちは自分が興味のあることであれば、どんどん進んでいくので、人材バンクも含めて地域にいる有資格者、司書の方に来ていただいて、図書館はいつも開いているという形を少し考えていただけたらありがたい。</p>	—

発言者	ご提言(要約)	区の考え方、対応(要約)
松田委員	<p>生野区は主任児童委員も多くて、なかなかまとめることも容易ではなく、子育てイベントをすることが難しいと思っていたところ、5年ほど前から区役所の子育て支援室のほうに協力いただいたのがきっかけとなり、こういうふうイベントをして、3回もしているのと他の区の方から言っていただけのようになり、協賛・協力していただく方がすごく増えて、こうやって人数も増えている。小学校になった途端によその区に引っ越してしまうというパターンが少し多いように思われるので、手が離れると自分らで暮らしていくというか、それがもったいないと思う。居場所という形で子どもたちがいる場所をつくってあげて、貧困だけではなくて、別にお金のあるなしに関係なく、みんなが寄れる場所をつくっていただきたいと思う。今までもずっとこのいくのっ子広場のことも絵本展等もいろいろ区役所のほうから、私たち児童委員に相談をしていただいて、たくさんこういうイベントができたことにすごく感謝している。</p>	—
新井委員	<p>大池中学校では、いろいろな国の子どもたちが来て、日本語が全く話せなくて、生野区長が推進されているやさしい日本語をもっともっと推進して広げていって、それを理解していってくれたら、救われる子どもたちが沢山いると思う。</p> <p>みんなが横のつながりを持って、やさしい日本語を推進していただけたら、いろいろな国の子どもたちも助けられるのではないかなと思う。</p>	—